

ボローニャ大学 協定留学（交換留学）月例報告書（2023 年 1 月）

文化政策学部 国際文化学科 4 年 外川内瑞季

【年越しの様子と 1 月の振り返り】

2023 年が始まった。年越しから年明けにかけて、ボローニャの中心地はたくさんの人で溢れていた。新年の始まりを祝う花火に加えて、爆竹の轟音が絶えず鳴り響いていた。今まで日本でぬくぬくと年越しをしていた私にとっては衝撃的だったが、外国のリアルな年越しの様子を体感できた。



年越しは SUAC の皆さんと一緒に！

今月はイタリア語の勉強に加えて、色々なことを熟考する時間も多く、改めて、留学を通した目標や達成したいことを整理した。これは数か月前から特に強く思うようになったことだが、この留学生活、イタリアにいたる時間は有限であり、必ず終わりがくる。気を抜いているとあっという間に時間が過ぎてしまう。残された時間を大切に、大学の授業、イタリア語、交友関係、訪れたい場所や目にしたいものなど、自分の目標に向かって行動していく。

【サンマリノ共和国への小旅行】

1 月 15 日に、サンマリノ共和国を訪れた。イタリア国内で、ボローニャから日帰りアクセスできる位置にありながら、世界最古の、世界で 5 番目に小さいれっきとした独立国である。公用語もイタリア語、通貨もユーロだが、違う国にいる、と思うと不思議な感覚だった。



サンマリノ神社。写真右の黒猫がお出迎えからお見送りまでしてくれました。恐らく、この神主だったのだと信じています…（笑）

サンマリノ共和国には、ヨーロッパで唯一の神社があると知ったため、初詣のつもりで行ってきた。この神社は、2011 年に発生した東日本大震災を受けて建立されたものである。自然のなかに佇む、こじんまりとした

神社だった。財布のなかに入っていた日本の五円玉を奉納し、今年一年、そして残りの留学生活が素晴らしいものになることをお祈りした。

旧市街地は、街全体が石造りの壁で囲まれており、目に映る景色全てが新鮮だった。城塞都市、という言葉が当てはまる、まるで物語やゲームの世界にいるような感覚を覚えた。高い場所から見た景色の全てに圧倒されて、とても感動した。

